



平成26年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日 東

上場会社名 株式会社アイスタイル 上場取引所
 コード番号 3660 URL <http://www.istyle.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉松 徹郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 菅原 敬 (TEL) 03(5575)1260
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月31日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第2四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第2四半期	3,341	6.2	106	△68.2	105	△67.1	7	△95.8
25年6月期第2四半期	3,145	46.1	336	△4.8	321	△12.0	183	△18.7

(注) 包括利益 26年6月期第2四半期 485百万円(157.0%) 25年6月期第2四半期 189百万円(△16.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第2四半期	0.53	0.52
25年6月期第2四半期	14.76	13.55

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年6月期第2四半期	6,216	4,475	71.5
25年6月期	5,523	3,984	71.6

(参考) 自己資本 26年6月期第2四半期 4,441百万円 25年6月期 3,952百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年6月期	—	0.00	—	—	—
26年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,478	16.7	587	△20.5	569	△20.2	254	△40.8	17.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年6月期2Q	14,856,200株	25年6月期	14,659,200株
② 期末自己株式数	26年6月期2Q	188,200株	25年6月期	188,200株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年6月期2Q	14,629,755株	25年6月期2Q	12,446,727株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (将来に関する記述等に関して)
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信〔添付資料〕5ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
 - 平成26年6月期の連結業績予想に記載の1株当たり当期純利益の計算の基礎となる期中平均株式数につきましては、本書提出日前日までの新株予約権の行使による増加株式数を反映させて算出しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
(4) 追加情報	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、平成26年6月期を転換点と位置づけ、事業改善や新規サービスへの積極的な投資を計画しております。その為、今期は増収減益を計画しておりますが、中期目標として掲げた平成28年6月期売上高100億円、営業利益15億を達成すべく、国内外において事業を推進しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間(平成25年7月1日～平成25年12月31日)の業績は計画通りの着地となりました。

売上高	3,341,742千円(前年同期比6.2%増)
営業利益	106,886千円(前年同期比68.2%減)
経常利益	105,789千円(前年同期比67.1%減)
純利益	7,746千円(前年同期比95.8%減)

当第2四半期連結累計期間におきましては、引き続きプレミアムサービスの機能拡充やプロモーションに注力した結果、有料会員数も計画通りに推移いたしました。また、第3四半期にローンチ予定の新サービス「ちぢまる」など、新規サービスの開発にも経営資源を集中してまいりました。

利益面につきましては、第1四半期に本社移転をしたことによる移転費用や家賃増が影響しております。また、海外連結子会社等で損失計上をしていることから税負担割合が大きくなり、純利益が7,746千円となりました。

各セグメントの業績につきましては、次のとおりです。

① メディア事業

メディア事業における当第2四半期連結累計期間(平成25年7月1日～平成25年12月31日)の業績は次のとおりです。

売上高	1,678,439千円(前年同期比4.9%増)
セグメント利益	15,180千円(前年同期比92.7%減)

メディア事業の主力サイトである「@cosme」の月間ユニーク訪問者数は約800万人(グループ全体では855万人)となり、12月にはクチコミ件数が1,100万件を突破いたしました。

収益面ではブランドファンクラブのサービスが堅調に推移いたしましたが、前第2四半期に開催した大型イベントを当第2四半期には実施しなかったこと、一部売上の計上時期が第3四半期にずれしたことにより4.9%の伸びに留まりました。セグメント利益につきましては、本社移転や立ち上げ期である海外子会社3社の影響により、減益となりました。

② EC事業

EC事業における当第2四半期連結累計期間(平成25年7月1日～平成25年12月31日)の業績は次のとおりです。

売上高	301,358千円(前年同期比5.3%増)
セグメント利益	31,805千円(前年同期比47.8%増)

前期に引き続き、化粧品ショッピングサイト「cosme.com」本店の販売が堅調に推移いたしました。また、12月には「cosme.com」がプロデュースしたモーニングソープ(洗顔料)を発売するなど、新しい試みを開始いたしました。

③ 店舗事業

店舗事業における当第2四半期連結累計期間(平成25年7月1日～平成25年12月31日)の業績は次のとおりです。

売上高	1,066,806千円(前年同期比14.5%増)
セグメント利益	81,457千円(前年同期比97.7%増)

当第2四半期連結累計期間においては、新規出店等を行わず、既存店舗の収益拡大に努めた結果、上野マルイ店、ルミネ池袋店の販売が順調に推移いたしました。

④ その他事業

その他事業における当第2四半期連結累計期間(平成25年7月1日～平成25年12月31日)の業績は次のとおりです。

売上高	295,137千円(前年同期比10.0%減)
セグメント損失	41,176千円(前年同期セグメント利益45,826千円)

エステサロンの検索サイト「ispot」のサービスモデルの変更を今期の計画として進めておりましたが、成果報酬型サービスの売上が想定を下回りました。期中より当該サービスの伸び悩みが見られたため、急遽計画の見直しを行いました。しかしながら、複数施策を打っており、収益改善に注力しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における資産の額は、前連結会計年度末に比べ692,438千円増加し6,216,068千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の額は、前連結会計年度末に比べ557,337千円減少し3,452,303千円となりました。これは主に、現金及び預金が469,918千円減少したこと、また受取手形及び売掛金が130,441千円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の額は、前連結会計年度末に比べ1,249,776千円増加し2,763,764千円となりました。これは主に、投資有価証券が1,076,355千円増加したこと、有形固定資産が204,709千円増加したこと等によるものであります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債の額は、前連結会計年度末に比べ201,653千円増加し1,740,613千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の額は、前連結会計年度末に比べ138,637千円減少し996,960千円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が98,920千円減少したこと、事務所移転費用引当金が36,828千円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の額は、前連結会計年度末に比べ340,291千円増加し743,653千円となりました。これは主に、銀行借入を行ったため長期借入金が163,664千円増加したこと等によるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の額は、前連結会計年度末に比べ490,785千円増加し4,475,454千円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加465,384千円等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末より469,918千円減少し、2,237,963千円となりました。区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、220,110千円(前年同期は202,213千円の収入)となりました。主な要因は、法人税等の支払額134,488千円があったものの、税金等調整前四半期純利益の計上93,301千円、減価償却費の計上174,854千円、売上債権の減少134,730千円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用された資金は、811,144千円(前年同期は800,837千円の支出)となりました。主な要因は、投資有価証券の取得による支出383,824千円、事務所移転等に伴う有形固定資産の取得による支出231,586千円、無形固定資産の取得による支出256,410千円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果得られた資金は、96,675千円(前年同期は1,493,638千円の収入)となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出305,147千円があったものの、長期借入れによる収入370,000千円、新株予約権の行使による株式の発行による収入32,500千円等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年6月期の通期の連結業績予想につきましては、平成25年7月26日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(ポイントに関する新たな会計処理の採用)

従来、顧客に付与されたポイントの使用による費用の発生に備えるため、四半期連結会計年度末において将来利用されると見込まれる額をポイント引当金として計上しておりましたが、当第1四半期連結累計期間より、ポイント発行時にポイント発行額を債務認識する方法を採用しております。

当該変更は、当社グループでは、当第1四半期連結累計期間より、マーケティングツールとしてのポイントの付与サービスの拡充を行っていること、及び、マーケティングツールとしてのポイント活用を目的として外部企業に対するポイント発行を管理するためのシステムを整備し、ポイントの売買方式を採用したことに伴い、ポイント発生時にポイント発行額を債務認識することが、当社グループの財政状態及び経営成績をより適切に表示するものと判断したことによります。

この結果、当第2四半期連結会計年度の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ4,122千円増加しております。

なお、これに伴い、当連結会計年度の期首において、前連結会計年度末のポイント債務を流動負債(その他)として、38,264千円追加計上しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,707,881	2,237,963
受取手形及び売掛金	978,814	848,373
商品	188,012	227,879
その他	148,076	145,829
貸倒引当金	△13,144	△7,741
流動資産合計	4,009,640	3,452,303
固定資産		
有形固定資産	100,716	305,425
無形固定資産		
のれん	65,676	57,522
ソフトウェア	545,977	616,183
その他	62,636	114,636
無形固定資産合計	674,290	788,342
投資その他の資産		
投資有価証券	283,399	1,359,755
その他	455,582	310,241
投資その他の資産合計	738,982	1,669,996
固定資産合計	1,513,988	2,763,764
資産合計	5,523,629	6,216,068
負債の部		
流動負債		
買掛金	174,404	222,940
1年内返済予定の長期借入金	234,904	135,984
未払法人税等	142,135	74,745
賞与引当金	—	12,000
ポイント引当金	25,478	—
事務所移転費用引当金	36,828	—
その他	521,847	551,290
流動負債合計	1,135,597	996,960
固定負債		
長期借入金	395,801	559,465
その他	7,561	184,187
固定負債合計	403,362	743,653
負債合計	1,538,959	1,740,613

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,560,781	1,577,077
資本剰余金	1,497,813	1,514,017
利益剰余金	915,858	891,510
自己株式	△37,640	△37,640
株主資本合計	3,936,814	3,944,965
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	465,384
為替換算調整勘定	15,766	31,314
その他の包括利益累計額合計	15,766	496,698
新株予約権	—	5,110
少数株主持分	32,089	28,680
純資産合計	3,984,669	4,475,454
負債純資産合計	5,523,629	6,216,068

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
売上高	3,145,928	3,341,742
売上原価	1,083,798	1,179,047
売上総利益	2,062,129	2,162,694
販売費及び一般管理費	※ 1,725,829	※ 2,055,807
営業利益	336,299	106,886
営業外収益		
受取利息	175	449
受取手数料	1,563	1,497
その他	1,509	5,231
営業外収益合計	3,248	7,178
営業外費用		
支払利息	3,094	2,073
支払手数料	—	2,500
株式交付費	13,610	—
為替差損	—	3,638
その他	1,206	64
営業外費用合計	17,911	8,276
経常利益	321,636	105,789
特別損失		
固定資産除却損	1,291	3,025
減損損失	—	9,210
その他	7,460	251
特別損失合計	8,751	12,487
税金等調整前四半期純利益	312,884	93,301
法人税等	123,811	88,351
少数株主損益調整前四半期純利益	189,073	4,949
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	5,383	△2,796
四半期純利益	183,690	7,746

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	189,073	4,949
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	465,384
為替換算調整勘定	—	15,548
その他の包括利益合計	—	480,932
四半期包括利益	189,073	485,881
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	183,690	488,678
少数株主に係る四半期包括利益	5,383	△2,796

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	312,884	93,301
減価償却費	113,434	174,854
のれん償却額	7,710	8,154
減損損失	—	9,210
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,050	△5,402
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,118	12,000
ポイント引当金の増減額(△は減少)	8,469	△25,478
事務所移転費用引当金の増減額(△は減少)	—	△36,828
受取利息	△175	△449
支払利息	3,094	2,073
支払手数料	—	2,500
株式交付費	13,610	—
為替差損益(△は益)	—	3,638
固定資産除却損	1,291	3,025
売上債権の増減額(△は増加)	△182,524	134,730
たな卸資産の増減額(△は増加)	△17,281	△39,885
仕入債務の増減額(△は減少)	210,441	48,536
その他	△78,410	△27,708
小計	403,714	356,271
利息及び配当金の受取額	180	449
利息の支払額	△2,716	△2,122
法人税等の支払額	△198,964	△134,488
営業活動によるキャッシュ・フロー	202,213	220,110
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△330,451	△383,824
有形固定資産の取得による支出	△25,566	△231,586
無形固定資産の取得による支出	△201,217	△256,410
差入保証金の差入による支出	△213,336	—
その他	△30,264	60,676
投資活動によるキャッシュ・フロー	△800,837	△811,144
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	360,000	370,000
長期借入金返済による支出	△67,700	△305,147
株式の発行による収入	1,200,917	32,500
その他	421	△677
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,493,638	96,675
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	8,686
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	895,014	△485,672
現金及び現金同等物の期首残高	1,653,490	2,707,881
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	15,754
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 2,548,505	※ 2,237,963

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (注) 1 (千円)	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2 (千円)
	メディア事 業 (千円)	EC事業 (千円)	店舗事業 (千円)	その他事業 (千円)	合計 (千円)		
売上高							
外部顧客への売上高	1,599,976	286,087	931,561	328,303	3,145,928	—	3,145,928
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	2,467	8,859	261	11,587	△11,587	—
計	1,599,976	288,554	940,420	328,564	3,157,516	△11,587	3,145,928
セグメント利益	206,792	21,518	41,213	45,826	315,350	20,949	336,299

(注) 1. セグメント利益の調整額 20,949千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (注) 1 (千円)	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2 (千円)
	メディア事 業 (千円)	EC事業 (千円)	店舗事業 (千円)	その他事業 (千円)	合計 (千円)		
売上高							
外部顧客への売上高	1,678,439	301,358	1,066,806	295,137	3,341,742	—	3,341,742
セグメント間の 内部売上高又は振替高	553	15,493	11,614	445	28,106	△28,106	—
計	1,678,992	316,851	1,078,421	295,582	3,369,848	△28,106	3,341,742
セグメント利益又は損失 (△)	15,180	31,805	81,457	△41,176	87,265	19,620	106,886

(注) 1. セグメント利益の調整額19,620千円は、セグメント間取引消去に伴う調整等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「店舗事業」セグメントにおいて、銀座店の閉鎖の意思決定に伴い固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該セグメントにおける減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において9,210千円であります。